

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	宮崎県	事業実施主体	宮崎県	地域再生計画名	港がかなえる豊かな都市・串間
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	宮崎県県土整備部港湾課長 江藤 彰泰、農政水産部漁村振興課漁港漁場整備室長 大森高広		

	指標	基準値		中間目標値			最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価	
		基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	基準年度				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	福島港整備による水揚げ延べ日数の増加	2,920人日/年	25年	-	-	-	3,020人日/年	31年	-	中間目標値が未設定であり、評価対象外
		福島港整備による潮待ち入出航制限日の解消	70日/年	28年	-	-	-	0日/年	31年	-	中間目標値が未設定であり、評価対象外
	指標 2	市木漁港整備による水揚げののべ日数の増加	1,000人日/年	25年	-	-	-	1,040人日/年	31年	-	中間目標値が未設定であり、評価対象外
	指標 3	都井漁港整備による水揚げののべ日数の増加	950人日/年	25年	-	-	-	1,050人日/年	31年	-	中間目標値が未設定であり、評価対象外
	指標 4	港の駅「いままち」の利用者増加	910人/月	25年	955人/月	29年	1,323人/月	1,000人/月	31年	○	福島港で水揚げされた新鮮な水産物の販売が好評であり、イベント開催などのPRを行うことで目標値を達成することができた。県外からも来客も多く地域活性化に貢献している。引き続き、取り組みを継続していく。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1	養殖業の水揚げ量増加	8,051t	25年	/	29年	8,827t	/	/	/	福島港の整備が始まった結果、漁業者の生産意欲が向上し、養殖業の水揚げ量は事業開始前（平成25年）に約8,000tであったのに対し、平成29年には1割増の約8,800tに増加している。今後も水揚げ量は増加する見込みである。
	指標 2										

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価	
		計画	中間年度（H29）	最終実績見込み		
特別措置を適用して行う事業	福島港	防波堤沈下対策	850m	241.5m	241.5m	当初は防波堤全体をかさ上げる予定であったが、測量により沈下が確認された一部のみ、かさ上げ工事を実施。平成28年度に完成し、整備前に比べ越波が少なくなった。
		付属物取替	493m	493m	493m	係留施設における車止め、縁金物の取替工事を実施。平成27年度に完成。
		泊地浚渫	90,000㎡	2,106㎡	90,000㎡	平成29年度に一部で実施。浚渫土砂の処分先が見つからず進捗が遅れていたが、環境省から海洋への投入が許可されたので、平成30年度末より本格的に浚渫していく。
	市木漁港	東防波堤	164.9m	37.0m	164.9m	防波堤のかさ上げ及び消波ブロックの製作・据付工事を実施。引き続き工事を行う予定。
		東防波護岸	32.5m	0.0m	32.5m	防風柵の設置工事を平成31年度実施予定。
	都井漁港	南防波堤	127.4m	36.0m	127.4m	防波堤のかさ上げ及び消波ブロックの製作・据付工事であり、平成30年度完成予定。
		南防波護岸	60.0m	0.0m	60.0m	護岸のかさ上げ及び消波ブロックの製作・据付工事であり、平成30年度完成予定。
その他の事業	港の駅「いままち」	串間市漁協による水産物の販売			隣接する福島港に水揚げされた新鮮な水産物を販売するなどして、水産物の促進が図られており地域経済の活性化に貢献していると考えられる。串間朝市「よかむん市」との合同イベントなどを積極的に行いPRにも力をいれている。	
	串間朝市「よかむん市」	月一回、商工会議所前に開催			毎月第3日曜日開催。串間市内の特産品販売やイベントの開催を行っており地元を中心に近隣からも集客を図っております。今後は魅力ある出店業者の開拓やイベント内容の拡充を図りながら新たな集客を図ってきたい。	
	市民発！にぎわい創出事業	市民提案の事業に対して上限50万円の補助を行う。			平成27年度以降に港を活用した事業は行われていないが、平成27年から平成29年の3年間で12団体への補助を行っており、地域活性化に寄与している。今後は、平成30年度で本事業は完了するため、新規事業において港を活用した事業の掘り起こしを図りたい。	
計画外で独自に実施した事業						

④評価方法 中間評価懇談会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。

⑤中間評価の公表方法 宮崎県ホームページにて公表

⑥計画全体の総合評価 事業進捗は順調であり、福島港では、防波堤のかさ上げ及び付属物取替の工事が平成28年度までに完成。また、都井漁港では、東防波堤及び東防波護岸が平成30年度に完成予定。本地域再生計画では、この地域において水産業の基盤となっている港湾・漁港を一体的に整備を行うことで、暴風時における他港への避難回数の減少、出漁機会の増加、漁労活動の安全性の確保・作業効率の向上を図ることを目標としているが、防波堤の整備により港内の静穏度が向上し、避難回数は減少傾向にある。また、中間年度である平成29年度までは水産物販売施設での利用者が増加し一定の成果を上げることができた。

⑦今後の方針等 福島港では、浚渫工事における土砂の海洋投入が許可されたので、今後本格的に実施し、利用者から強く要望の出ている潮待ちの解消へ取り組んでいく。漁港では、都井漁港において東防波堤等整備の平成30年度完成を目指すとともに、市木漁港においても南防波堤及び南防波護岸の整備について平成31年度までの完成を目指し進めていく。